

275  
8  
30

學小  
唱歌集  
第三編



唱歌集第三編  
目次  
やと後夜

春の夜

なみ風

あふけば尊き

や

寧樂の都

才女

母のねんみ

小呂吹集

目次

二巻

めぐりくる車

墳墓

秋の夕暮

古戰場

秋竹

富士筑波

園生の梅

橘

四季の月

白蓮白菊

學び

小枝

船子

鷹狩

小船

誠人の道

千里の道

春の野

瑞穂

樂しむ

菊

忠臣

千草の花

きのよ今日

頭の雪

さげ花よ

高嶺

四の時

花月

治る後代

後へ吾秀を

心をも

心を王

招魂祭

第五十



1. ヤ ヨ ミ タ ミ イ 子 ラ ウ 正  
2. ヤ よ め た み め や を ろ 里



井 ノ ミ ツ タ タ ヘ キ ミ ガ ヨ ハ  
わ の や を ふ き て き め の よ は



ハ ラ ツ ズ ミ ヲ チ ミ フ イ ハ ヘ  
わ め つ ゆ し の ぎ も を わ た れ

第五十 やよ後民

一 やよみつこ。稲をうむ井の  
水たへ。考の代ハ。後つみ  
うら。身をいへ。  
二 やと後民。管絃か。わの  
おをふたへ。考の代ハ。考の  
たつこ。世をいへ。



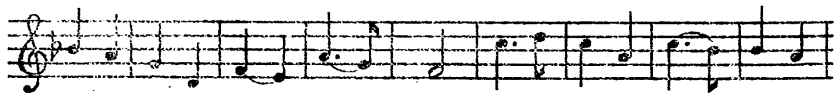
カスミニキーユルカリガー子ーモカス



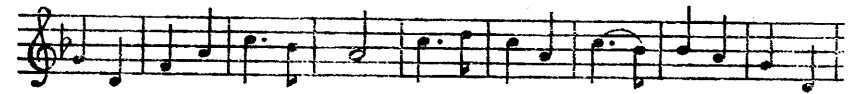
カニヒービクフエノー子ーモヲサマル



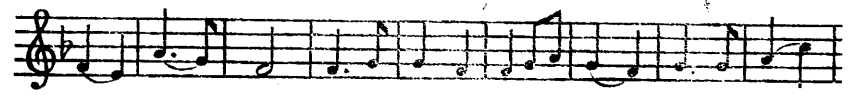
ミヨーノーシラベーニーテ|タノシキハー



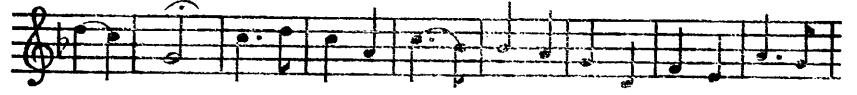
ルノユフグーレーヤトモシビトーリテ



ムカシノヒトノアソビシヨーハモカカ



リーケーンヨハサマザマートーオモヒー



シーヲムカシモイーマモカクサキニホ



フハナニハーソムクヒトヅナキー

第五十一 春の夜

一 かすみよきゆるかきね  
 色。かき<sup>え</sup>の<sup>え</sup>ひびく<sup>え</sup>。苗の  
 春<sup>え</sup>。を<sup>え</sup>ま<sup>え</sup>の<sup>え</sup>。清代<sup>え</sup>ろ。  
 しらべ<sup>え</sup>。あ<sup>え</sup>。た  
 とも<sup>え</sup>。ゆ<sup>え</sup>。か<sup>え</sup>。  
 かし<sup>え</sup>。火<sup>え</sup>こ<sup>え</sup>りて<sup>え</sup>。

のひや<sup>え</sup>。あ<sup>え</sup>。び  
 ね<sup>え</sup>。あ<sup>え</sup>。けん。  
 世<sup>え</sup>。あ<sup>え</sup>。  
 せ<sup>え</sup>。  
 か<sup>え</sup>。は<sup>え</sup>。に<sup>え</sup>。ほ<sup>え</sup>。  
 とも<sup>え</sup>。に<sup>え</sup>。あ<sup>え</sup>。  
 人<sup>え</sup>。ぞ<sup>え</sup>。な<sup>え</sup>。

第三十二



1. ナミカ一ゼ サカ マク アヲツナ バラ ニ ヤミ  
 ぶどらぎ一な うとぶく わらやま なおに やみ



チヲ タド レル フナ ビト アハレ ヤミ チヲ  
 ぢーに まよ なる たびび どめはれ やみ ぢに



タードレルヲナビトアハレ イノチトターノ  
 まよなるたびびどめはれ いのちとた一の



ムハ サヲ カヂ ナレ ヤ サヲ カチ ナレ ヤ  
 むは ともしび なれ や ともしび なれ や

第五十二 ちと風

一 流しぜさかまきくあせうま  
 びに。晴路をたどまら。  
 ふれ人らもせや。ち洛を  
 たどまら。船人ありれ。命わ  
 たのむ。標くらちれや。

二 舟さへうま。荒山中に。  
 やららなまもも入る。まび人  
 ありき。やららにまも入る。  
 船人ありき。いのちとたのむ。  
 とり。火ちれや。



第五十三 けふはたまた

一 わふげはたまた。よのの影の影。  
 二 互にむつ。日さの影。  
 三 朝ゆふたれ。まの影の影。  
 ほろれ。火つむ白雲。  
 今こそわのま。

一 わふげはたまた。よのの影の影。  
 二 互にむつ。日さの影。  
 三 朝ゆふたれ。まの影の影。  
 ほろれ。火つむ白雲。  
 今こそわのま。

一 わふげはたまた。よのの影の影。  
 二 互にむつ。日さの影。  
 三 朝ゆふたれ。まの影の影。  
 ほろれ。火つむ白雲。  
 今こそわのま。



第十五

1. ナ ラ ノ エー ヤ コー ノ ソ ノ ム カ シー ミ  
 2. ふ る き みー や こー の そ の 都 の しー ぎ

ヤ ビ ツー タ シー テ エ ヤ ビ トー ノー ア  
 む ら のー ぎ しー て おー ぼ き み のー か

ソ ビ マ シ ケ ン タ ツ タ ガー ハ ラー ノ モ  
 と び ま し け ん し の の はー な ぞー の は

ミ ナ バー タ ツ タ ガー ハ ラー ノ モ ミ ナ  
 な ぎ、 きー し の の はー な ぞー の は な ぎ

バー イ マ モ ニ ホ フー チー シ ホ  
 きー い ま も に ほ ふー いー ろ ろ

ノー イー ロー ニー ノー コ ル カー タ  
 をー とー なー てー ぶ め る すー ぶ

ミー ハ チ ヨ モ ク チ セ ズ イ マ カ イー マ  
 たー は ち よ も ろ は ら ず い ま や いー ま

カート キミヲマツランソノモミチ  
 やー と み ゆ き ま つ ら ん と の は なー は





第五十七

1. ハ ハノオモヒハ ソラニモ一チ ユークヘモシ  
 2. は はのなぎ けの なでして一よ つ一ゆなわす

ラ一ズハ テモア一シ ツキノカツ ラ一ヲ タ  
 れ一セめ ぐみを一ば い なをうつ す一も そ

ヲリテ一ゾ イヘノカ一ゼヲバ フカセツ一  
 だてぐ一き は たをき一るき なを しるぐ一

ル ア フ一ゲ ア フ一ゲ ハ ハ ノ モ イ サ フ  
 ゃ し た一な し た一な は は の な ぎ けを

第五十七 母のねぐさ

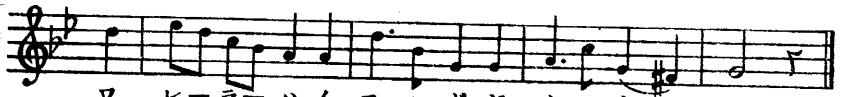
一 ちちねぐさひい。かきにまら。  
 いんそとまじい。まじい。  
 はなはのねぐさ。もをうてらう。  
 ぬるねぐさ。あをけらる。  
 あふげ。母のねぐさ。

二 母のなまの。かきよ。  
 まあすまよ。あをけらる。  
 ぬるねぐさ。もをうてらう。  
 ねぐさをまじい。まじい。  
 まじい。母のねぐさ。

第五十八

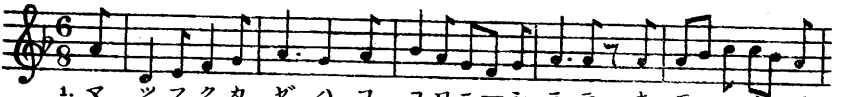


1. メ グレ ル ク ルー マ ナ ガ ル ルー ミー ツ  
2. い は ね を つ た ふ し づ ら の み づ

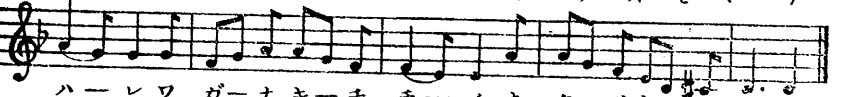


ワ レー ラー ハイ コ ヘ ド ヤ ム マ ナ シ  
つ る ー れ ー ば つ ひ ー に う み と を ー る

第五十九



1. マ ツ フ ク カ ゴ ハ コ コ ニ シ ミ テ オ モー ハー ア  
2. め ツ ぶ ぶ ぶ カ ム に む し の ね の れ エ オ オ モー ハー ア



ハ は ー レ れ ー ワ わ ー ガ ぶ ー ナ を ー キ キ ー チ は ー チ は ー ノ の ー オ お ナ ー ク ム キ ー ツ ツ ア ー キ キ ト ー ド ド ナ ー コ コ レ ー ロ ロ ャ

第五十八 ぬれる車

一 めぐる車。ちがら水。わきハ  
いこへや。やむ間さ。  
二 窓ねを。流やちま。  
作し。

第五十九 墳墓

一 ねろく風。あそふ水。  
ねろく。あそふ。わがれさ父。  
奥津城。  
二 海茅が。あそふ。わがれさ母。  
わくつさ。  
三 若むす。境。文。さ。一。階。え。え。  
あそふ。あそふ。あそふ。あそふ。  
あそふ。あそふ。あそふ。あそふ。

第六十

第六十 秋の夕暮

1. 2. 3. ハコア ナコハ ヤロレ モナサ ミキビ ジムシ 二 モモヤ オウイ  
 目ほ口 ぶれハ モシナ ノレケ カとレ 二二 ハヤド ウシマ ラギキ ノタタ トツツ マキヤ  
 ヤハマ 二二 ノの アア キキキ ノの 二二 ユユ フエフ グムグ レレレ

第六十 秋の夕暮

一 花や紅もあつた。なほよりの夕暮。

二 夕のまはるもあつた。なほよりの夕暮。  
 野の澤の夕暮。

三 あつた夕暮。なほよりの夕暮。  
 夕のまはるもあつた。なほよりの夕暮。



第六十一

1. カバ子大クチテホ子トナリシ  
 2. ひどるげ一みえずあぜ一せむし

ヤイバハラレテシモムスグ  
 ヤイバハラのレテシモムスグ  
 イマのハチタをナすビクハタスラスをキ  
 ツゼの三女は一オチトカマムツチカゼジカナ

第六十一 古戦場

一 屍ハ朽て骨とちり。双ハを母と。

~~~~~

鼓のねんね風。

二 人斬るはず。ゆき。道はれて。

~~~~~

~~~~~



第六十三

1. スルガナル フジノタカ子ヲ アフギテ  
 2. つまば 詠の このもゑの ももてらすなる

ツゴカーヌエヨハシラ ケーリ  
 みよのひあぞぞめ ーおー たき

第六十三 富士筑波

一 駿河なる。あーのさねを。

あなだも。あつぬ法代を。

しづたり。

二 けつじののちまかめ。

しづたり。あつぬ法代を。

あつぬ法代。

ハル---メ---キ---ヌ---カ  
 ヤ---み---れ---ば---ゆ

タ---ノ---ユキ---モ---ムラ---キ  
 の---あ---ぬ---の---そ---の---

エ---テ---ソ---カ---ナ---ツム  
 し---こ---き---ム---ら---の---は

ム---ノ---ハ---ナ---リ---ヌ  
 な---き---そ---め---ぬ

第六十四

1. ツノアノウメノオビカゼ  
2. やよひのそらにのほみれ

ニ  
ハ

フガスマヤモ  
すみれのはなぎ

第六十四 梅の亀

一 そのふけ梅は。退れ。わがまはらみ。

きめやぬ。うけはらみ。わがまはらみ。

よのよの。うけはらみ。わがまはらみ。

二 赤い梅のそらに。のほみれ。のほみれ。

よのよの。うけはらみ。わがまはらみ。

かこ梅はらみ。わがまはらみ。

第六十五

1. チチノモノ チチヤモウエシ  
 2. ははをばの ははやも うゑし

ナツカシキ カルニコモソ  
 したはしき るをモソ

ニすかなる ヨニフルサトノ  
 ののぶのきとの

ハ ナ ノ タ チ バ ナ  
 は な の た ち ば な

第六十五 橘

一 ちりけさる。父やをうらむ。

なつかし。母やをうらむ。

よたふさふさの。橘たちばな。

二 ははの。母やをうらむ。

せむし。母やをうらむ。

ははの。母やをうらむ。

第六十六

一 さねにゆふ。やまのけしき。ろり。  
 りんごう。ちか。ちか。い。で。  
 二 るすだ。な。ろ。そ。ま。ろ。  
 け。ゆ。へ。に。ば。や。ら。  
 三 友のあはれ月。  
 四 いけのあ。ま。か。い。は。な。  
 冬のはな。

第六十六 四季の月

一 さねにゆふ。やまのけしき。ろり。  
 りんごう。ちか。ちか。い。で。

二 るすだ。な。ろ。そ。ま。ろ。  
 け。ゆ。へ。に。ば。や。ら。  
 友のあはれ月。

三 いけのあ。ま。か。い。は。な。  
 冬のはな。

四

第六十七

1. ドロウチヨリヌケイデテ ニゴリニ シマヌハナハチス ツキノ  
 ぬきも ぬれし そのうち ゆきにもいろはまぎれぐき いただん

ヒカリカヒルスゴク シモトサユバ ナツサム シ ミダレルツユハ  
 しもはみをよを ひきえゆる つきは 面ににみか つゆはくすまど

タマトエ エ カヲレルカゼハ エニヅシム コホリノスガタ ユキノ  
 きんのみ づ うめはみををのおのど も やーみのよはぎなてらす

イロ ツユナ ケガシソ ヨノチリニ  
 なま どうぞの もーどに ふみやみんふみやみーん

第六十七 白蓮白菊

一  
 泥のぬれり。ぬけいで。濁りにまぎれ。  
 蓮月のひかり。ぬる。ぬる。ぬる。  
 白蓮白菊。乱る。乱る。乱る。  
 たまは。たまは。たまは。たまは。たまは。たまは。  
 氷のすか。氷のすか。氷のすか。氷のすか。氷のすか。氷のすか。  
 せ。せ。せ。せ。せ。せ。

二  
 雪の本をかき。園の中。雪になむ。  
 まは。まは。まは。まは。まは。まは。  
 けえゆ。けえゆ。けえゆ。けえゆ。けえゆ。けえゆ。  
 ねくの氷。ねくの氷。ねくの氷。ねくの氷。ねくの氷。ねくの氷。  
 雪の。雪の。雪の。雪の。雪の。雪の。  
 雪の。雪の。雪の。雪の。雪の。雪の。



第六十八

1. 2. 3.

|     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| マホマ | ナヒナ | ビビビ | ハハハ | ワワワ | ガガガ | ミミミ | ノのノ | ヒのヒ | カタカ | リドリ | トゼト | ナナナ | リるリ |
| フゆオ | ウめゴ | キゆリ | モめハ | エゆワ | イるガ | カナミ | モなノ | ココア | ココタ | ロロト | ノのゾ | マコナ | ママル |

第六十八 學内尋

一 まほびのわがはなをさくら。

あはぎ。えいぐん。あはぎをさくら。さくら。

二 学内尋のわがはなをさくら。

あはぎ。えいぐん。あはぎをさくら。さくら。

三 学内尋のわがはなをさくら。

あはぎ。えいぐん。あはぎをさくら。さくら。

第百九

1. サ エ ダ ニ ヤ ド レ ル  
 2. わ ろ や に ろ ひ め る

3. ミ ナ シ モ ナ ラ ト シ  
 4. き み に も つ ろ ふ る

5. コ ト リ サ ハ レ イ ハ シ ル  
 6. い ぬ き ね も お ん は し る

7. ソ ノ ビ ト ヲ ヲ ス ル ナ ヨ  
 8. マ サ ラ ト ヲ ヲ ミ ス ル ナ ヨ

第六十九 小枝

一 けえぶにやどれる。小まさを。  
 後ハ一。る。道をなまひ。  
 その人を。あするたふら。  
 二 吾あふうひぬる。火けへを。  
 恐ハ一。る。君にそつかあ。  
 大夫ま。と。身をつくせ。

第七十

1. ヤ ヨ フ ナ コ コ ゲ フ 子 フ 一  
 2. し 不 み ち て ろ ぜ な き ぬ 一

3. コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ ヤ ヨ フ ナ コ 二  
 こ げ よ こ げ よ こ げ よ こ げ よ や よ ふ な こ 一

第七十 船子 ふたばこ

一 やよふと子。こげ船を。

こげよ。

やよふれ子。

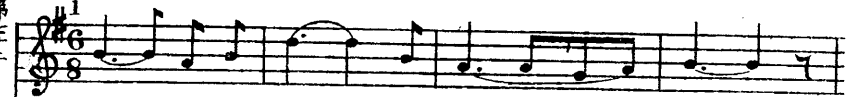
二 志不みちて。風ちぎぬ。

こげよ。

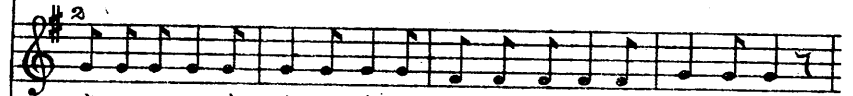
やよふれ子。



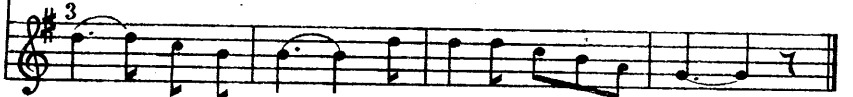
第七十二



1. ナーガ ルルー ミヅー ー ー ノー ー  
2. ふーちせ もー みえー ー ー ザー ー



ウヘニモサクハナココロセヨヤヲブ子  
そらよもちるはなこころせよやをぶ花



ソーゴニモハナノカー ー グー  
そーでに もー は なの なー ー むー

第七十二 小を船

一 流く水のの。うみをさくむ。

うみをさくむ。をさぐね。

庭にをさぐねのうけ。

二 洲津をさぐねのうけ。

うみをさくむ。をさぐね。

そで 神をさぐねのうけ。





第七十七



1. ターノシワレ マナビモラヘヒモクレーヌ アー  
 2. うれしわれ あみよみはてひもムレ スぬ あー

スサモマタアサトクヨリマナーバマニシカ の  
 タクムトシツッキタエウセマガラバツた

キツカツララモアゾルハキ

第七十七 年としのれ

一 たのしむ。あま。まねびとをへ。  
 日さくらぬ。あすをまへ。  
 ねごとよりOn the spotままかへ  
 年月としづきたえせざらば。月の桂つきのはらぎ  
 をを。これぞをるべき。

二 うき。あま。あみよみはて。  
 ひさくらぬ。あすをまへ。  
 ねごとより。勉つとめま。かへ  
 づ。月つき接たゆまざらば。ねごとねごとを  
 なる。おをらるべし。



第七十八

シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ

シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ

シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ

シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ  
 シハシラギクムヒ

第七十八 兼

一 庭のちぢ草えむれねむ。  
 かまそきびくちうにくり。  
 ちぢ草ちぢく。冷白菊。  
 ひとりおされてはちうにくり。

二 花よりたわむや菊乃花。  
 ちぢにおぐらやちぢの心。  
 あらりむく。ちぢ白菊。  
 人のみさをんかくてこり。

第十九

アア カグ ハシ クス ノフ タモ ト アア タリ エセ シ  
 アア カグ ハシ クス ノフ タモ ト アア タリ エセ シ  
 ナト ガハ マチ モノ オハ トモ ミニ ゴシ ムナ ルレ  
 ナト ガハ マチ モノ オハ トモ ミニ ゴシ ムナ ルレ  
 ノの アハ レソ ノイ サ ヲ 妙 妙 妙 妙 妙  
 ノの アハ レソ ノイ サ ヲ 妙 妙 妙 妙 妙  
 キヤ ダ イ ノ ヒ ト 妙 シ ア 妙 シ タ グ ヒ ナ ヤ

第七十九 忠臣

一 嗚呼香ぐはし。楠の二本あ絶せ。  
 又さそ川。浪のまよ。かにぞも  
 あり。そありき。その功績。忠臣  
 嗚呼。忠臣。兄弟の人。忠臣あり  
 忠臣。たぐひなきや。

二 嗚呼。くぐはし。の二も。あらるり。  
 芳野。やま。ら。ら。世に。く。めき。  
 そ。た。し。や。の。ま。や。忠臣  
 あく。忠臣。兄弟のひと。忠臣。嗚呼  
 忠臣。たぐひなきや。

第八十

Handwritten musical score for '千草の花' (Thousand Grass Flower). The score is written on three staves in G major (one sharp) and 4/4 time. The lyrics are written below the notes. The first staff includes a key signature change to D major (two sharps) for the second system. The lyrics are: 千草の花は。あそびの。野原の。水は。月や星も。そよよと。なごむ。うげ。そよよと。あそびの。うげ。うげ。

第八十 千草の花

一 千草の花は。あそびの。野原の  
 水は。月や星も。そよよと。なごむ。  
 うげ。そよよと。あそびの。うげ。うげ。

二 鐘をよそ。秋のそよ。あそびの。  
 さそよ。あそびの。あそびの。あそびの。  
 清ゆ。あそびの。あそびの。あそびの。

三 はう。あそびの。あそびの。あそびの。  
 あそびの。あそびの。あそびの。あそびの。  
 あそびの。あそびの。あそびの。あそびの。





1. サチ ケガ ハガバ ヨサ サハヤク ノチノチ ハガバ ヨサ ノチノチ  
 2. ナキキ ハハノチ

1. サチ ケガ ハガバ ヨサ サハヤク ノチノチ ハガバ ヨサ ノチノチ  
 2. ナキキ ハハノチ

4. な け と め よ う へ び す な け よ へ  
 5. ヤ ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ

1. め の は る に な け と め よ う へ び す な け よ へ  
 2. ヲ パ ヲ タ フ ヤ ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヨ

第八十三 ちかむさぶ

一 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 乃ちけむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 二 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。

三 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 四 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。  
 ちかむさぶ。ちかむさぶのむさぶ。

1. タ カ 子 フ シ エ ナ と わ ハ  
2. ツ カ キ ヒ の り ェ は ば

イ デ ニ ケ リ フ カ ナ ス  
み の ま も り む な し

ワ ザ フ タ ス ケ ン ターメー  
な さ な し ば し の ひーまー

ニ ヒ ハ イ デ ニ ケ リ  
も つ と め よ は げ め



第八十四 高嶺たかね

一  
ふゆのねをこうそく。  
日無いでにあり。  
わのなすもぢを。  
たすけ舞うた  
る。日無いであり  
けり。

二  
つた目れうげを。  
まの身のまをり。  
かきくかすれ。  
志ばし乃ひまを。  
はやめをけえ。

ヨツノ トキナガメツツ キヌ ハルハ ハナオリナスニシ キー

アキハ ツキマス エノカガミ ナツゴロ モカトリモスズ シフユ

ノ アサケユキ モヨ シヒトノヨ ハタノシキモノ カ

カミノ オンクニノ オンキモノ オンワ スルーナーヒート

第八十五 四の時

一  
 よつのごた。たつめぞ  
 法おぬ。まをほ邪。  
 おりちの給。あねを  
 月。ますすけのふる。  
 なはごころも。かやうえ  
 す。冬れあはる。

世をよ。いひかへる  
 世も。もれなきまのう。  
 非れ思。國ろなん。  
 君の思。あすのふ人。



第八十七

第八十七 治の治代

一 治の治代の春のわたより来た。

けまふくち。さ

雲のうらみ風にならぬ。

二 治の治代の春のわたより来た。

さかたのうらみ風にな

らぬ。

第八十八

1. イ ハ ヘ ワガキモヲ メクモノ シキナモ ヤシマニ アフレ アマ子キ  
 2. い は 花 わが心に を みづの おしほは のもせに みちて しろ可社

ハルカゼ クサキモ ナビーク イハヘ イハヘ クニノターメ ワガキモヲ  
 こゝろは はなぎき せせめぐ いは花 いは花 きみのたゝめ わが心に を

第八十八 祝へ吾者を

一 祝へ吾者を 吾々の 幸波を せむに

あつた 暮の たるま 風その 本よびく。

いはく 國の なるわが 君を。

二 祝へ 吾國を 瑞穂の ちわが 膝を せ

にまらて ちらう ねる 金たに 葉ゆ

いはく 君の なるわが 國を。

第八十九

ヤマギハ シラモテ スズメハ ナキヌ ハヤトク オキイデ フミヨメ  
 ふみよむ ひまには はなどぞ めでよ ぞぞなき はなき たのしみ  
 フガコ フミヨメ フガコ フミヨム ヒーマニハ ハナトリ ムデヨ  
 つきざ たのしみ つきざ わかづち ひらけし はじめも むらぢ

第八十九 花巻

一 山ざんざん 雀はかたぬを 疾く  
 おたいで 書よあわが子まよ 吾か  
 ふとと母をひきたに 花巻のむら。

二 書らむひまに。花巻めど。鳥見  
 心咲たのしみつたす。出つたは。  
 であつち  
 地ひけ。始をからぞ。

第九十

第九十

1. 2. 3.

コネツ コナキ ロ名カ ハネタ タめシ マツタ ナめヒ リてテ ニ タまイ モチチ リびビ モシシ アハヒ ミヤト ズハ

ヨヒヒ ルカ トモリ ルほヲ ツモツ トメエ モチチ ニ ミヨヨ ガハラ ニ キコニ ニモソ ミモテ ガハラ ケレセ

第九十 心ハ玉

一 ころころハ玉チヨ。ヨメヨメアハ。

よの書物ヲス。スハヤクモ。

二 夢をアハシマシ。人。

ひかりハ。ハ。

三 月夜ハ。人。

コトハ。ハ。



第九十一

1. コニ マツ ル キミガ ミ タ マ ランハクダケテカニニホーど  
 2. ここにまつ る せんしのひと 不祓をなだ人もきみあーたーめ

ホ子ハクチテ ナラズノコー ス ツクエ シロモノウケヨーキーミ  
 へのまも る よよのあーみ ひろたえせじそひーあーそ

第九十一 招魂祭

一 ありに奠る。君が霊蘭はなけて。

吾に白ひ骨は朽ちて。名を跡に。

机代抱うけと君。

二 け解にまつる。義死の命を輝え。

君の為國死すも。世々の鑑。

光りたにせむ。おひらう。

學  
口  
哥  
集

音  
學  
取  
言  
書

明治十七年三月二十九日出版屆

文部省藏版々權所有